

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふる あたご

第46号
【発行】
2009年6月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



グループホーム三条
「お花見の様子」 （関連記事はページ）

目次

職員紹介、編集委員よりお知らせ・・・2	木陰亭昔語り 第4回・・・8
事業所だより・・・・・・・・・・・・・・3	伊東先生のコラム第45回・・・11
自分で食べるを応援します！第12回・5	お手軽レシピ・・・・・・・・・・・・・・12

わたしたち はあとふるあたご は、“人” を一番大切にします。

職員紹介 第31回



デイサービス課 言語療法担当
高橋 洋子

デイサービス課で言語療法を担当しています。対象のお客様は、脳血管障害等の後遺症で、「失語症」という脳の左側の言語中枢といわれる場所が損傷されて、言葉を聴いたり、話したり、読んだり、書いたりという言葉を使つてのコミュニケーションに支障をきたした方々です。



私は言語聴覚士と呼ばれる専門の国家制度の資格が出来る前から、ほぼ30年近く病院でST（言語治療士）と呼ばれ、失語症をもった患者さんたちの言語障害の治療にあたってきた経験があります。その時の経験が今生かされて、一人一人のお客様の抱える言葉の障害に向き合い、少しでも今より進歩して、前向きに生きていけるようお手伝いできることは、何より幸せなことだと思っています。言語治療を受けて元気になっていただけるよう頑張ります！

～月刊はあとふるあたご編集委員が変わりました



(後列左より) 中山、岡田、斎藤、横井
(前列左より) 荒木、富樫、南

平成21年度の『月刊はあとふるあたご』編集委員が決定し、今月号より訪問介護課の横井と総務部の斎藤(毎号おなじみ、木陰亭昔語りの筆者です！)を新たに加え、計7名で始動いたしました。

また、企画室・古野間に代わり、デイサービスセンターさかえ所属の富樫が今年度の編集委員長を務めさせていただくこととなりました。

各事業所の日常風景やイベントをはじめ、専門家によるコラムや旬な素材を使った簡単レシピな

ど、多種多様な内容を取り入れ、誌面を作成しております。

はあとふるあたごの基本理念にもあります、『“人”を一番大切にします』をモットーに、皆様の“見たい”“知りたい”にアンテナを張りめぐらし、『月刊はあとふるあたご』の発行を楽しみにしていただけるよう、より充実した誌面作りに取り組んでいきたいと思ひます。ご意見やご指摘等ございましたら、お気軽にお知らせください。どうぞよろしくお願い致します。

月刊はあとふるあたご
編集委員長 富樫 亜希子

デイサービスセンター坂井東



坂井東では、4/12～15日までの4日間でお花見を行いました。
場所は鳥屋野潟です。

厨房の職員手作りの、心のこもった花見弁当を持って出発！鳥屋野潟沿いの見事な桜並木の下を通り、「STEP」という建物の7階の展望室



で昼食をとりました。眼下には、本当に素晴らしい桜の風景が広がっていました。外出には疲れが付き物ですが、皆様、なかなか花見には行けないということで、とても喜んでくださいました。私達職員も、満開の桜を堪能させて頂き、お客様と幸せな時間を過ごすことができました。また一年間元気に過ごし、来年も皆で花見に来ようと約束しました。やはり春は、そして日本人は桜だなあ・・・

デイサービスセンター坂井東 原島 淳子
電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

グループホーム新津

《この集中した視線の先は…??》

この篤い視線は何でしょう！

まるで童心そのものです。

素敵ですよ！下手な「ことば」なんて要らない！

【目の前は可愛いエンゼル(7ヶ月児)♡】



新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889



【そしてもう1枚は成長したエンゼル(学童たち)♡】



グループホーム

グループホーム五泉

●予定していたじゃがいもを裏の畑に植えました。

当日は雨がふりそうでしたが、園児たちの元気で空も泣くのを我慢してくれていました。

園児たちが到着すると、お客様方へ歌のプレゼント。
園児たちの振る舞いに「かわいいねえ。すごいすごい」と拍手し、涙される方々多数・・・。

子供の持つ力の大きさが身にしみました。

歌のプレゼントが終わり、お待ちかねの芋植えに・・・



「ほら、ぼくのじゃがいも大きい。これどうするの？」初めての体験に興味津津な園児たち。質問が飛び交います。

「5月にはじゃがいもの芽がでていいね。」と楽しみにされ芋植えを終えました。

ご協力してくださいました、こばと保育園様、カットハウスサクマ様ありがとうございました。

グループホーム五泉

岡田 健

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

居宅介護支援課

●こんにちは！ ケアマネジャー1年生です。



私は、昨年の4月から非常勤のケアマネジャーとして城北町で勤務しております。

以前は、在宅介護のヘルパーとしてお客様の生活を支えるお手伝いの仕事をさせていただいておりました。

今はケアマネジャーとして、お客様ひとりひとりが充実した在宅生活が送れるように、相談援助を通じて一緒に考えさせていただいております。

ご本人様・ご家族様の思いをどれだけきちんと受け止められているのだろうか、なにも出来ずにただ話を聞くだけになってはいないかと悩み、自身の未熟さを感じることも多々あります。けれど、日々の訪問で皆さまの前向きに頑張っているお姿や笑顔を見ると、とても嬉しく励まされている毎日です。

高齢者世帯、独居世帯が増え、複雑な家族関係もある中、介護の問題は容易ではありません。そんな中でも笑いがあり、少しでも安心して自宅での生活が続けられるように、より一層の努力をしていきたいと思っております。

居宅介護支援センター城北町

佐藤 弘子

自分で食べるを応援します！第12回

「自分で食べることを応援する道具作りが 私たちのテーマです」



株式会社コラボ 代表取締役社長

秋元 幸平



「自分で食べることを応援する道具作り」が私たちのテーマです。

その目標のために「食」に関するいろいろな道具を大学の先生・施設の専門家・ユーザー様のお知恵とご指導を頂き研究して、「こだわり」を持ったもの造りを続けています。

しかし、福祉食器だけで商売が成り立つかと言うと現実には難しいです。

どんなにお客様に喜ばれても感謝されても、数量が多く動かなければ利益が得られず、企業として運営が難しくなります。利益を上げる為に値上げすれば、なお売れなくなりお店での取り扱いも少なくなりさらに悪い状況になります。福祉用品の開発はボランティアではないのです。

そこで、(株)コラボは 4 年前に(株)青芳製作所の福祉部門を分社独立させて立ち上げましたが、昨年の終わりに経営の見直しをはかり営業の窓口をもとの(株)青芳製作所にもどしました。販売は全く同じ体制で進めます。一人でも多くの方が笑顔で食事ができるためこれからもがんばりますので、今後とも宜しく御願い申し上げます。

福祉用具課



ミントグリーン

日中の気温も暖くなり、皆様も外出をする機会が増える季節になりました。外出には必ず『くつ』を履くかと思いますが、自分の足に合わない靴を履いていませんか？

大好評で販売中の徳武産業「**あゆみ ダブルマジックⅡ**」をご紹介します。



ピンク グレー ブラウン ブラック ※ミントグリーン、ピンクのあやめ丸

この「ダブルマジックⅡ」は
布製で5色、合皮製で2色、サイズはS (21.0 cm) ～ 5 L (27.5 cm) があります。

さらに、足の周りが広い「ワイドタイプ」が5E、7Eとございます。
装具をご使用の方でも対応しております。

また、**片方のみの販売も可能で左右のサイズが違う場合でも安心です。**
重量は布製の片足Lサイズで155gと大変軽くなっております。

サイズ合わせにご不安な方は専門の職員がご相談にお伺いする事もできます。
この機会に、足元のリニューアルを行ってみてはいかがでしょうか。



黒

茶

福祉用具課 榎並 利夫

福祉用具レンタル・販売/住宅改修のお問合せは…

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新 発 田 0254-23-1173

シリーズ ヘルパーさんって!? 其の一

みなさま、いつもヘルパーさんをご利用いただきありがとうございます。
お客様のお宅で日々、身体のなんぎなところを代わってお手伝いさせて
いただいておりますが、ご存知のように法律で決められている部分で
お手伝い出来ない事がいくつかあります。

ですが、ケアマネージャーさんや役所の方々との話し次第でこんな事できるんですよ！
と、言った内容をお話ししたいと思います。



ヘルパーさんと買い物に行きませんか？

訪問介護の内容に「買い物同行」と言った項目があります。

足腰がなんぎ・・・

外に出るのもおっくう・・・

転んでしまうのでは？

重いものが持てないなどの心配事があるとおもいます。

そんなとき、ヘルパーさんと一緒に買い物に行ければ、

杖となり、ポディガードとなり、荷物持ちともなります。

新緑の若葉がしげる今日この頃、外出するチャンスですよ！



※くれぐれも、ケアマネージャーさんにご相談した後、お許しをいただいてからお願いします。

訪問介護ステーション 荒木 幸子 横井 清彦
電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター松浜

●「虹いろの小道」へお花見ドライブ



デイサービスセンター松浜では、桜が満開の頃、
毎年恒例のお花見ドライブに行きました。

私が参加させて頂いた日は、濁川中学校脇の「虹
いろの小道」と名づけてある水路へ行きました。”地
域の皆さんや子供達に楽しんでもらえるように”と、
中学校の生徒さんが考えた虹の形のアーチがある水
路です。地元の田園研究会の方々が協力して、春か
ら秋までさまざまな花が楽しめるようです。

その日の「虹いろの小道」は車の通りがなく、私達の車は
徐行しお花見を楽しんでいると、車の窓から桜の花びらがは
らりとお客様の手元に舞い降り、歓声が上がりました。思わ
ずお客様は花びらをほっぺに飾り、にっこりと少女のような
微笑みになっておられました。

5月になった今では、虹の形のアーチにはふじの花が美し
く咲いていました。毎月のように「虹いろの小道」へお客様
と行けたらいいな・・・と思っております。



デイサービスセンター松浜 金子 ひろみ
電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

デイサービスセンターさかえ

●さかえの HAPPY BIRTHDAY !!!



5月1日、さかえは4歳の誕生日を迎えました。

平成17年5月1日に開設し、はや4年。月日が流れるのは早いものです。さかえではささやかなお祝いをしました。

昼食は“スペシャル松花堂弁当”をお出しし、皆様に召し上がっていただきました。この日のメニューは、赤飯・胡麻豆腐・玉子焼き・えびと竹の子とふきの煮物・青菜の酢味噌和え。皆様「豪華な弁当だね!!!」「おいしいね〜!!!」と連発されていました。



その後、休憩を挟んで音楽療法の永野先導のもと、4周年のプチお祝いタイム!!! 紙ふぶきが舞ったり、職員のチャンバラがあったり、黒田節を踊ったり…盛りだくさんなひとときでした。

お客様も「もう4年たつんだな〜」「オレもここにきて4年たったんだ」と感慨深そうにお話して下さいました。

さかえがここまで来れたのもご利用下さっているお客様のお陰です。皆様の笑顔のために、私達職員一同これからもがんばっていきます!!!

これからもさかえをよろしく願います!!!!

デイサービスセンターさかえ

高野 理香

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

デイサービスセンター横越

●春…といえば、毎年恒例になっていますが、『お花見ドライブ』に行ってきました。

「すごぼり」という、センターから車で10分ほどの所にある桜並木の名所ですが、この時期が近づきますと、「お花見行くんだよね?」「いつ行くの?」と、お客様から期待の声!

桜の木が400本も、いや、もっとありそうなくらいに続く桜・桜・桜!! 何度見ても感動してしまうのですが、初めて見られたお客様もいらっしゃり、驚かれ



るやら感激やらで、「すごいねえ!」「きれい!」と、何度もおっしゃっていました。

「すごぼり」から近い、「北山公園」という所にも行きましたが、池の周りに桜が咲いていて、こちらもとてもきれいで、楽しいドライブでした。

デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

【木陰亭昔語り】第4回 ～営所通と脚気～

総務部 経理財務課 斉藤正明



国道116号線が、桎谷小路から東中通に折れたあたりに、「営所通」という地名があります。東中通のあたりが「営所通一番町」で、寄居中学校のある「二番町」まで続いています。今回は、この地に「営所」があったところのお話です。

—それでは、木陰亭さんに語ってもらいましょう。—

「『営所』というのは、『兵営所』のことじゃよ。明治になると、新政府の軍隊が派遣されることになり、

兵舎や練兵場が造られた。明治7年のことじゃ。敷地は、今の県知事公舎から新潟税務署、寄居中学校までを含む広大なものでな（写真：兵営所のあったあたり）。そこに800人からの兵隊が暮らしておった。『営所通』という地名がついたのは、この『営所』へと続く通りがあったからじゃな。

ところがこの『営所』、出来てからたったの4年で無くなってしまった。なぜだと思う？ 脚気にかかる兵隊が続出したんじゃよ。当時の陸軍は、それを新潟の湿気のせいだと考えて、よそに移転してしまった。とんでもない間違いじゃ。湿気で脚気になどなるものか。原因は白米じゃ。陸軍は、兵隊を集めるために、三食『銀シャリ』を食わせることを売り物にしておった。ろくな副食も付けずに、胚芽を研ぎ落とした白米だけを食べさせ続けた結果、兵隊はビタミンB1不足になって、次々と脚気で倒れてしまったというわけじゃよ」

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

●デイサービスでは端午の節句に向けて、折り紙でこいのぼり作りをしました。



こいのぼりはなかなか難しく、苦戦されていましたが、とてもかわいらしいこいのぼりができあがりました。そのあと、少し時間が余ったので、新聞紙で兜作りをしました。

中には折り方を忘れたと話されていた方もいらっしゃいましたが、折っているうちに思い出され、あっという間に作られていました。最後には兜をかぶって頂き、記念撮影をしました。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 堀越 恵子
電話0250-62-8888(ショート)0250-62-8886(デイ)
FAX0250-62-8887(デイ・ショート共通)

デイサービスセンター柳都大橋

●新しいボランティアさんが来てくれました！！

今回のボランティアさんは活弁士の方で、レクリエーションの時間に活弁と手品を披露して下さいました♪♪活弁の様子は柳都のホームページ上のブログに載せておきましたのでそちらをご覧ください。

活弁の後に手品を披露してくださった手品は全て手作りの道具で、音楽も自前のCDプレイヤーでかけていました。手品の内容もシンプルでありながら、アッ！！と驚くような楽しい手品でした。「横から



見ちゃダメですよ！！正面から見て

下さい！！」「下から覗きこんじゃダメですよ！！」「仕掛けが解っても言っちゃダメですよ！！」意地悪な職員とお客様に翻弄されながら、ボランティアさんはしきりに汗をふいて自前の水筒で水分補給をしながら頑張っていました。

最後は南京玉すだれを披露して下さい大盛況のうちに幕を閉じました♪♪♪次回は意地悪しないのでまた来て下さいね！！

デイサービスセンター柳都大橋

熊倉 敬祐

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335



デイサービスセンター河渡本町

♪屋根より高い鯉のぼり～♪



5月4日 明日は子どもの日♪ということで、おやつレクリエーションを行ないました。

この日作ったのは、“鯉のぼりワッフル”く・))<<

参加されたお客様は最初、出来るかなあ？焦げつかさねろっかあ？と不安そうにされていましたが、職員が一枚二枚と生地を焼いているのを見るうちに皆様立ち上がり、自らフライ返しを手に持たれました(*^^*)

さすが！長年、主婦をやってこられた皆さま。月島のもんじゃ焼屋のお母さんの様な技の数々！！

生地が出来ると皆様で中に小豆クリームをはさみ、鯉のぼりの顔を書いて、鯉のぼりワッフルの完成☆

お客様からは「普段のも美味しいけどやっぱり、自分たちで作ると美味しいもんだね！」という声が聞かれました。おやつレクリエーションを通して、“作る楽しさ”

を思い出して頂けたのではないかと思います。これからも、色んな“楽しさ”を皆様に提供出来るよう、学んでいきたいと思ひます。

デイサービスセンター河渡本町

野口 晴代

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター城北町



先月に引き続き、祝5周年ムードいっぱいのデイサービスセンター城北町。

ホール内のリニューアルのほかに、もうひとつリニューアルしたのがあります。庭です。

デイサービスセンター城北町には、ほかの事業所にはないほどの大きな庭があります。

お花など植物が大好きなお客様と一緒に、土をいじりながら作業したいとの思いから、「レイズドベッド」という高床式の、花壇を配置いたしました。

花の手入れは、中腰の姿勢をとらなければならないなどの大変な点もありますが、レイズドベッドなら腰掛けたままで花の手入れが容易にできますし、腰を曲げずに作業が行えます。

これから畑で夏野菜を育てたり、花を觀賞しながら庭でお茶をしたりと、城北町ならではの楽しみが増えました。

今、レイズドベッドには「マリーゴールド」の花が咲いています。花言葉は「健康」です。お客様やご家族様、そしてわたしたちの「健康」を想い、大切に育てています。

デイサービスセンター城北町

小泉 美咲

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

グループホーム三条

●花見へゴーゴー

ついこの前まで寒かったよね・・・？
すごく暖かいじゃないですか。

このままでは一気に咲いちゃいますよ！
と、ということでお花見は、計画もそこそこ
に小グループで気楽にお出かけ。



どこに行きたいかアンケートを取ると多いのが本成寺。昔は土手があってそこにいっぱい桜が咲いていたそうです。

本成寺へ行ったり、八幡宮に行ったりと、場所もいろいろ、オプションで外食するグループもあつたりと、皆様に楽しんでいただくことができて、よかったと思います。

グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

伊東先生のコラム第45回

「石黒先生、ありがとう。」

突然ですが、このコラムを私有化させていただきます。

石黒先生、ありがとう。

私は、先生がいなければ今の私ではありませんでした。

新潟高校という名門高校に入りながら不登校になりました。夜、家を抜け出し、バイクでの改造した車にのる集団に入りました。

もう、学校を辞めるつもりでした。

石黒先生が、助けてくれなければ、高校を辞めていたでしょう。先生が「伊東が来るまで待つ。」「来るのが嫌なら俺が行く」そうまでしてくれた。本来なら退学させられるところでしたが、学校の会議で猛烈に反対してくれたと聞きました。

本来3年で高校生活は終わるのですが、他の人よりかなり時間がかかりましたが、高校を卒業しました。何度も不登校が出現しました。そのたびに石黒先生の力で復帰しました。

その後は、医学部に進学し、思いのまま医学を学び、青春を謳歌しました。

石黒先生ありがとう。その先生との突然の再会、びっくりしました。

「伊東か？伊東なんだな？」白髪の男性は新発田高校の教頭先生になっていました。

あの熱血先生が「おちこぼれの腐ったみかん」を覚えていてくれました。

先生の教えです。

「ひとつの命にも無駄は無い」「俺は全ての生徒を守る」

いま、そういう先生は居るのかな？

石黒先生は、私にとって神様です。

保育園のころからお絵かきの時間に内臓の絵をかいて先生に気持ち悪がられたり、

お年玉をためて数万円もする医学書を読みふけったり。医学だけには興味がありました。

医学だけです。おそらくやれといえは理論上中学生のときに手術も出来たでしょう。そのくらいに大好きでした。その夢をかなえてくれたのが石黒先生です。

そして、私は「ひとつの命も無駄にしない。」「俺は全ての患者を守る」

石黒先生の教えのとおり医師をしています。

ありがとう。コラムを私有化してすみません。



医師 伊東浩志

☆あじさいかんクリーム添え☆



じめじめした梅雨を
元気に
乗り切りましょう！

＜材料＞5人前

ぶどうジュース100%・・・150cc

砂糖・・・10g

粉かんてん・・・2g

生クリーム・・・100cc

砂糖・・・15g

キウイ・・・10g

＜作り方＞

- 1、ぶどうジュース、寒天、砂糖を鍋に入れ火にかけ寒天液を作る
- 2、バットに入れ、あら熱をとり、冷蔵庫で冷やす
- 3、生クリームに砂糖を入れ、泡立てる
- 4、生クリームをお皿に入れ、その上に1cm角に切った1の寒天をのせる。
- 5、キウイなどを飾って出来上がり。

デイサービスセンター河渡本町 田中 京子

「思い出」を本にします

～誕生・青春・家族・仕事・地域・・・プレイバック～



皆様の歩んできた人生の証を本に刻み、ご家族・
お子様・お孫様、そして地域へ残したい…。

一番の思い出(家族・結婚・仕事・戦争)のこと
など伝えたいことを形にしたい…



「はあとふるあたご」のお客様を対象に「思い出の本」の制作を企画しました。

お一人様 **B5サイズ見開き(2ページ)**掲載。参加費用は **7,500** 円(税込)。ご家族様分として **5** 冊提供。一人では、費用が高くてできない自分史の出版を多くの皆様・ご家族様の参加により実現します。ぜひ、ご参加ください。(最大100名まで)

お問合せは…

はあとふるあたご企画室 担当：古野間(このま) 電話：025-228-5000 FAX：025-228-4000

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

＜連絡先＞はあとふるあたご 新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地 電話025-228-5000 FAX025-228-4000

＜編集委員＞南洋子、中山卓、荒木幸子、横井清彦、岡田健、斎藤正明、富樫亜希子